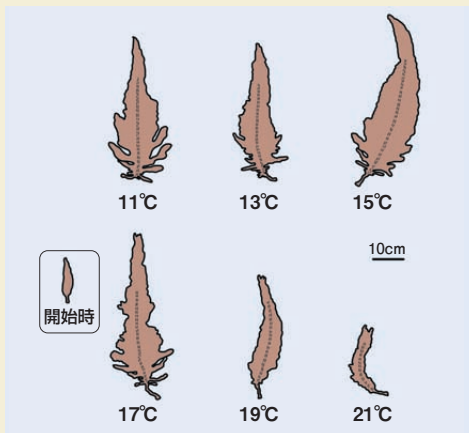


海生研では、海藻類に関する野外や室内における様々な試験研究を行っています。

海藻類の多くは浅海域の海底や物体に固着して成長するため、地域的な環境変化の影響を受けやすい生物の一つと考えられます。

図は養殖対象種であるワカメを屋外水槽で栽培した試験の一部です。異なる水温で20日間栽培した結果、ワカメ葉状体は平均水温11～17℃ではほとんど差がなく良好に成長することがわかりました。



財団法人海洋生物環境研究所は、発電所の取放水等が海の環境やそこに生息する生物に与える影響を科学的に解明する中立的な調査機関として、現在の環境省、農林水産省、経済産業省の共管の下で、昭和50年に設立されました。

これまで「大規模発電所の取放水が生物に及ぼす影響の解明」「取放水域の環境調和技術の開発」「原子力発電所等周辺海域の海洋放射能調査」等の調査研究を国や民間からの委託をうけて実施しております。

海の豆知識 第9号

平成13年10月1日 発行

発行所

財団法人 海洋生物環境研究所

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3丁目29番地 帝国書院ビル5階

電話 03-5210-5961/FAX 03-5210-5960

<ホームページ> <http://www.kaiseiken.or.jp/>

かいせいけん

# 海の豆知識

Vol.9

??? 魚のことわざ ???  
〈その8〉



# 魚のことわざ

〈その3〉

—ハゼ—

海とその生物にまつわる諺や格言についてお話ししましょう。

今回のテーマはハゼ(鯿)類です。

ハゼ類は全世界の主として熱帯・温帯の海域や淡水域、汽水域に約2千種余りが生息しており、日本では約3百種が分布しています。普通ハゼといえばマハゼ(真鯿)、江戸の昔から釣りや食の対象として人気があります。



1

## 「鯿釣りは彼岸から」

ハゼは秋の魚。それも彼岸の頃から型が揃い、釣りの味も食べる味もおあつえうけになる。だが、それを待ち切れずに七月頃から赤ん坊のデキハゼ(出来鯿=その年に生まれた子鯿)を釣る人もあるが、「季に非ざる魚は釣らず」を徹底したいもの。

2

## 「鯿ならば釣ってきなよと女房いい」

ハゼの人気の最大の理由は釣りやすいこと。汽水・沿岸と何処でも釣れること。そして食べては癖がなく、誰の口にも合い、天麩羅・洗い・甘露煮(鯿甘)・佃煮と、レパートリーが広く、人と競うのでなければ、粗末な仕掛けで晩のオカズぐらいは釣れるから女房も喜ぶ。ハゼは庶民の釣り、庶民の魚である。

3

## 「鯿の鉤で、はたやは釣れぬ」

「はたや」は、タイの方言(地方名)。ハゼを釣るような小さなハリでは、タイは釣れない。転じて、僅かな報酬や利益を与えたくらいでは、人は動かない・動かされない、ということ(徳島地方の諺)。

4

## 「鯿は飛んでも一代、鰻はのめっても一代」

「鰻は滑っても一代、鯿は飛んでも一代」ともいう。どのような生活をしようとも、貴賤の別なく一生は一生であることの例え。また、人はどんなにもがいても天分以上のことは出来ないことの例えにもいう。